

令和6年度 砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会総会・研修会

日時：令和6年5月23日（木） 14：00～

場所：砺波市文化会館 多目的ホール

塚根会長代行の挨拶後、来賓の祝辞を砺波市厚生センター所長：長瀬博文氏
砺波地方介護保険組合事務局長：藤森俊行氏より頂きました。

講演

演題 「倫理的意思決定支援としてのACP
ーケアマネジャーの役割は？ー」

講師 南砺市民病院 院長 清水 幸裕 先生



講義

内容 「令和6年度介護報酬改定について」

講師 富山県介護支援専門員協議会副会長

南砺市地域包括支援センター長補佐 竹内 嘉伸 氏



- ・意思決定支援とは、**本人の意思の確認**や意思及び選考を**推定**し、それらが困難な場合には、最後の手段として、本人の**最善の利益**を検討するための行為及び仕組みをいう。
- ・ACPは**ナラティブ**である。周囲の人に自分のナラティブを話す中で自分の価値観に気づき、周囲の人がその人をそしてその人の人生を理解する。本人のナラティブが豊かになることが大切。

令和6年度 砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会第1回研修会

日時：令和6年8月27日（火） 14：00

場所：砺波まなび交流館 2階 視聴覚室

テーマ：福祉用具貸与・特定福祉用具販売について

「もっと気軽につながろう 福祉用具事業者 編」

砺波地方介護保険組合：業務課課長 長田一進氏より挨拶を頂き、業務課主任：立野裕子氏より特定福祉用具販売についての制度説明を受けました。次に、福祉用具事業者「株式会社小野医療器」、「株式会社スリーティ運輸」より2事例の発表があり、最後にグループによる意見交換を行いました。全部で7事業所の福祉用具事業者に、各グループに参加して頂き、楽しい交流の場を持つことができました。

～意見交換～

- ・購入することで費用負担の軽減や安心につながった。体調不安定の方は、判断が難しいなど、選択制のメリット・デメリットについて意見交換が活発にされました。
- ・福祉用具事業者さんからも、今後のモニタリング時に、選択制についても盛り込んできますとの意見を頂きました。
- ・サービス担当者会議の開催や申請について、ケアマネジャーの負担の声も多く聞かれました。

